

鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)

事務事業No.64-1

記入日 平成25年 4月24日

点検日 平成 25年 5月31日

|            |                             |        |        |               |       |               |       |        |
|------------|-----------------------------|--------|--------|---------------|-------|---------------|-------|--------|
| 事務事業(予算)名  | 農業委員会事務局の運営に要する経費           |        | 作成課・係  | 農業委員会事務局      |       |               |       |        |
| 政策名        | 3.3 活力ある産業を育成します            |        | 施策     | 3.3.1 都市農業の育成 | 基本事業  | 3.3.1.2 農地の保全 |       |        |
| 関連計画・根拠法令等 | ①農業委員会法 ②農地法 ③農業経営基盤強化促進法 ④ |        |        |               |       |               |       |        |
| 事業区分       | 継続                          | 前回総合評価 | 6.精査検証 | 実施計画掲載        | 無     | 行革推進対象        | 無     | 事業実施主体 |
| 関連類似事業名    |                             |        | 予算(款)  | 0             | 予算(項) | 1             | 予算(目) | 0101   |

|  |   |                  |                 |       |
|--|---|------------------|-----------------|-------|
| 1. 事業の目的   | (1)事業の対象(誰を、何を対象としているか。範囲は。※補助事業等の場合は負担金・補助金の支払先も記入)  | 対象指標             | 指標名称(対象の大きさを表す) | データ出典 |
|  | 農業委員会法、農地法、農業経営基盤強化促進法に基づく農業委員会業務を円滑に運営するための活動。   | ①農業委員            |                 |       |
|  |   | ②                |                 |       |
|  |   | ③                |                 |       |
| (2)事業の概要(手段、具体的な事務事業のやり方、手順、詳細を記入)                   | 活動指標  | 指標名称(手段や活動内容を示す) | データ出典           |       |
|  | 法令事務:農地法等の法律によりその権限に属された事務<br>促進等事務:農地等の利用集積事務その他効率的な利用の促進に関する事務等<br>許可申請及び各種証明に伴う調査並びに審査:現地調査及び総会等   | ①農業委員活動日数        | 業務取得            |       |
|  |   | ②                |                 |       |
|  |   | ③                |                 |       |
| (3)事業の意図(対象をどのようにしたいのか。どう変えたいのか。※どんなサービスニーズに応えるかでも可) | 成果指標  | 指標名称(意図の達成度を示す)  | データ出典           |       |
|  | 食料供給力の強化等を図るための農業生産・経営の基礎的な資源である農地の確保を目的とする「農地改革プラン」に沿って政策が展開され、その運用を担う農業委員会事務の点検及び検証を実施する。また、一人ひとりの農業委員の意識向上を狙いとする取組を行うとともに、農地流動化「ワン・スリー運動」の推進を図る。 | ①農業委員活動日数        | 業務取得            |       |
|  |   | ②                |                 |       |
|  |   | ③                |                 |       |
| (4)結果(どんな結果に結びつけるのか。※基本計画の施策の「めざす姿」との関わり)            | 施策成果指標  | 指標名称(結果の達成度を示す)  | データ出典           |       |
|  | 食料自給率の向上のための優良農地の確保と有効利用及び担い手の育成確保と農用地利用集積の斡旋が行え、集団化した農地への誘導が図れる。また、このことにより遊休農地の解消が実施される。   | ①農地面積            | 業務取得            |       |
|  |   | ②販売農家数           | 業務取得            |       |
|  |   | ③経営耕地面積          | 業務取得            |       |

| 2. コスト・実績の推移               | 年度        | 単位   | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 目標年度(年度) 今後の計画総額 |
|----------------------------|-----------|------|--------|--------|--------|--------|--------|------------------|
|                            |           |      | 決算     | 決算     | 決算     | 決算見込み額 | 予算額    |                  |
| (1)総事業費 自動計算               |           | 千円   | 10,455 | 13,113 | 10,447 | 10,722 | 10,866 | 0                |
|                            | ①国庫支出金    | 千円   |        | 2558   |        |        |        |                  |
|                            | ②県支出金     | 千円   | 1583   | 1545   | 1219   | 1200   | 1165   |                  |
|                            | ③市債・その他財源 | 千円   | 130    | 154    | 144    | 169    | 98     |                  |
|                            | ④一般財源     | 千円   | 8742   | 8856   | 9084   | 9353   | 9603   |                  |
| (2)総所要時間(0.5単位) ①+②+③ 自動計算 |           | 時間/年 | 3000   | 3000   | 3000   | 3000   | 3000   | 0                |
|                            | ①正職員(時間内) | 時間/年 | 3000   | 3000   | 3000   | 3000   | 3000   |                  |
|                            | ②正職員(時間外) | 時間/年 |        |        |        |        |        |                  |
|                            | ③非常勤職員    | 時間/年 |        |        |        |        |        |                  |

| 3. 指標の推移等                         | 指標      |    | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 目標年度(32年度) 将来目標値 |
|-----------------------------------|---------|----|--------|--------|--------|--------|--------|------------------|
|                                   | (1)対象指標 | ①  | 人      | 16     | 16     | 16     | 17     | 17               |
| ②                                 |         |    |        |        |        |        |        |                  |
| ③                                 |         |    |        |        |        |        |        |                  |
| (2)活動指標                           | ①       | 日  | 370    | 455    | 429    | 546    | 649    |                  |
|                                   | ②       |    |        |        |        |        |        |                  |
|                                   | ③       |    |        |        |        |        |        |                  |
| (3)成果指標 ※基本事業成果指標等                | ①       | 日  | 370    | 455    | 429    | 546    | 649    |                  |
|                                   | ②       |    |        |        |        |        |        |                  |
|                                   | ③       |    |        |        |        |        |        |                  |
| (4)施策成果指標                         | ①       | ha | 5.3    | 5.6    | 6.1    | 6.7    | 7.1    |                  |
|                                   | ②       | 戸  | -      | -      | 334    | -      | -      | 330              |
|                                   | ③       | a  | -      | -      | 39,000 | -      | -      | 37,500           |
| (5)指標の推移に影響を与えるような外的要因はあるか。それは何か。 |         |    |        |        |        |        |        |                  |

|         |                                  |   |  |  |
|---------|----------------------------------|---|--|--|
| 4. 環境分析 | (1)事業開始の背景・開始時の環境                | 農業委員会は、昭和26年7月農業委員会法の制定により発足した行政委員会であり、発足後、昭和29年、32年、55年に大きな法律改正が行われている。      | (2)過去5年間で事業を取り巻く環境はどのように変わったか ※新規は記入不要 | 平成21年1月23日付け農林水産省経営局長通知による「農業委員会の適正な事務実施について」により、農業委員会(農業委員)の活動が求められている。また、平成21年12月の農地法改正特になし。 |
|         | (3)今後事業を取り巻く環境はどのように変わることが予想されるか | 都市化に伴う農地隣接地の宅地化等により、営農環境が悪化し、農業経営が厳しい状況の中、農業従事者の高齢化及び担い手不足により、農地の遊休化が懸念されている。 | (4)事業について市民や議会の意見(市民意識調査、個別要望・意見)      |  |

|          |             |           |   |
|----------|-------------|-----------|---|
| 5. 評価・検討 | (1)行政関与の妥当性 | 3:高い      | (理由)なぜ、市が関与する必要があるのか？ 農地の転用・所有権移転等をする場合は、農地法の規定により、農業委員会に届出又は許可申請をすることとなっている。       |
|          | (2)目的妥当性    | 3:高い      | (理由)事業の目的は上位の施策にどのように結びついているか。農地法の厳格なる運用により、優良農地の確保及び遊休農地の削減に繋がる。                   |
|          | (3)公平性      | 4:当てはまらない | (理由)対象は偏っていないか？ 必要となる対象を広げたり狭めたりできないか？ 農業従事者又は農地所有者に限られているため、公平性の比較対象外である。          |
|          | (4)有効性      | 3:高い      | (理由)この事業を廃止した場合、施策達成に支障があるか。同じ目的を持つ他の事業はあるか？ さらに成果指標を伸ばせないか？ 法令に基づくものであり、廃止は考えられない。 |
|          | (5)効率性      | 4:当てはまらない | (理由)コストがかかりすぎているか？ 事業費、所要時間を縮減する手段・方法はないか？ 法律に基づき運営されているため、効率性の比較対象外である。            |
|          | (6)総合評価     | 6:精査・検証   | (今後の方向内容) 平成21年度の農地制度改正に伴う農業委員会の運営強化を図り、農地に関する適正な管理を実施した。                           |

|            |                         |  |
|------------|-------------------------|--|
| 6. 改革・改善内容 | (1)前回の事務事業評価で掲げた改革・改善内容 | 農業委員会の活動計画の遂行と新たな農地法の内容、目的等を事務局長及び農業委員会を含め、理解を深め運営を図る。                             |
|            | (2)(1)に基づく取り組み結果        | 平成25年度までの目標を定めた活動結果・検証評価の実施。   |
|            | (3)平成25年度に取り組み改革・改善内容   | 活動結果・検証評価を踏まえ、農業委員一人一人の更なる意識の向上及び農地法等への理解を深めると共に、農業委員会全体での意識統一を図り、農業委員会業務の運営向上を図る。 |

※評価検討(1)~(5) 1:低い、2:普通、3:高い、4:当てはまらない

※総合評価検討(6) 1:終了、2:廃止、3:休止、4:縮小、5:改善、6:精査・検証、7:拡充

1 終了:事業が完了したので、終了する

2 廃止:事業を廃止する

3 休止:再開を前提に休止する

4 縮小:好ましくない状況なので、規模を縮小する

5 改善:事業実施方法等について、改善した上、継続する

6 精査・検証:業務手法等について精査・検証の上、継続する

7 拡充:重点的に資源を配分し、規模を拡大する